



特集

ペットを 愛でる家

愛らしく癒やしの時間を与えてくれるペット。今やおおよそ5世帯に1世帯近くが、犬か猫を飼育しているという調査結果（一般社団法人ペットフード協会調べ）もあるほど、ペットとの暮らしは一般的なものとなっています。そんな家族の一員でもある大切な存在のペットが、日々の生活を快適に、そして健康的に過ごすためには飼い主による愛情はもちろん、生活環境がとても重要です。今回は、猫、犬と共に暮らすお客様2組に、家づくりのヒントや毎日の幸せな暮らしについてお話をうかがいました。

愛猫と心地よく暮らせる 住まいのヒント



Hint
2

キャットタワー

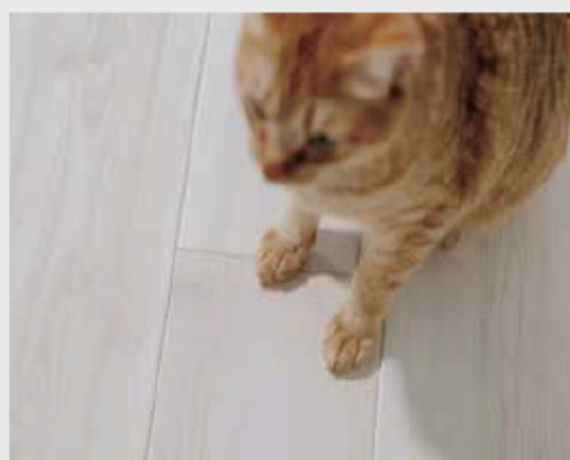
猫が梁にジャンプしてちょうど届く高さのものをセレクト。猫と暮らしのシンボルにもなり、また、猫たちがよく遊ぶため、運動不足解消にも一役買っています。



Hint
1

キャットウォーク

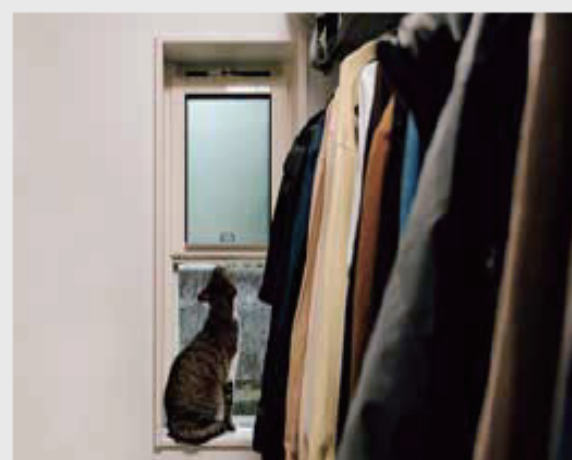
現在ではあまり見ることのできないほど立派な梁。あえて見せたことで天然のキャットウォークになりました。猫が悠々と歩く姿はとても愛らしいです！



Hint
4

特殊加工の床

表面を硬くするための特殊加工を施した床材は、猫の爪痕が残りなくなっています。白っぽく明るいカラーなので、猫の毛が抜けても目立ちにくいのが◎



Hint
3

クローゼットの小窓

収納力たっぷりのウォークインクローゼットにある小窓は、猫たちの特等席。天気の良い日は、窓際で外を眺めながら日向ぼっこを楽しんでいるそう。



担当からヒント
リノベーション専門家 深井 吉田 晋次

日中不在の際は、猫ちゃんたちのために、エアコンを稼働したままお出かけされるとのことですが、断熱・気密工事をしっかり施したことで、光熱費がリノベーション前より2〜3割程安くなったそうです。猫ちゃんたちの快適な暮らしをサポートできてうれしく思います！



#01
Love cats

年代物の梁を活かした キャットウォークの ある暮らし

祖母の空き家を
フルリノベーション

賃貸マンションから、空き家となっていた奥様の祖母宅に移り住んだご夫婦。築80年以上の古民家は、夏は暑く、冬は寒く、不便な面が多数ありました。また、床のほとんどが畳であったため猫たちが爪を研いでしまったり、ぼろぼろに。ほかにも、ダニが発生するなど大変な生活を強いられました。そこで、建て替えやリノベーションをご検討。奥様のお母様が生まれ育った家ということもあり、思い出を形に残すためフルリノベーションを選択します。コンセプトは「猫たちとの快適な暮らし」。掃除にあまり時間や手間をかけたくないというご希望から、猫の抜け毛が目立たない床や、爪痕が残りにくい壁紙など、白を基調とした明るい家になりました。

人も猫ものびのび
快適に暮らせる家

今回、ヤマサハウスからの提案は、特殊加工した表面が硬い床材の採用、年代物の梁を活かした空間づくり。「床は、傷がつきにくくて汚れてもサッと拭くだけでOKなんです。それから、梁は猫たちのキャットウォークになりました！」とお客様。解体工事の終了後に猫たちと見学へ行つたところ、猫が脚立から梁に登っているのを見て、高さの合うキャットタワーを用意することに。また、以前は、縁側や廊下などのスペースがあつて、ひとつひとつの部屋が狭かったのが、回遊動線になって広々としたこともあり、猫たちも走り回つてのびのびと遊んでいるのだとか。「まだまだたくさん猫を飼いたい」と話す、お客様の笑顔が印象的でした。



Family data
ご夫婦＋
猫3匹(きさぎ・ばんず・カメレ)